

(一財) 日本水土総合研究所 愛知セミナー

参加無料

「農業用ダムの堆砂対策について」

農業水利施設等の農業生産基盤は、我が国の食料生産に不可欠な基本インフラであり、また、農村地域の防災・減災といった公益的な機能も有しています。このため、計画的な整備・保全に取り組み、これら機能を将来にわたって安定的に発揮させる必要があります。

特に、農業用ダムについては、経年的な劣化の進行やこれに伴う機能低下等が懸念されるとともに、局所的な集中豪雨、流域荒廃等の他動的要因により、計画時の想定を大きく上回る速度で貯水池内の堆砂が進行しているケースも見られます。今後とも健全なダム機能を確保していくために、ダム及び付帯構造物の老朽化等による機能低下とともに、堆砂対策も含めて、適時適切な保全管理を実施していくことが重要となっています。

今回、このような状況を踏まえ、『農業用ダムの堆砂対策について』をテーマとするセミナーを開催することとしました。

本セミナーでは、ダムの堆砂対策をはじめ、流域の土砂管理について研究をされている京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 恩田特定准教授（電源開発株式会社中部支店支店長代理）から、『ダム上下流の流砂環境再生に向けて』と題しご講演いただきます。

また、近畿農政局 淀川水系土地改良調査管理事務所 茂木所長から『近江東部地区（永源寺ダム）における堆砂対策について』と題して、ご講演いただきます。

多くの方に本セミナーにご参加いただくことで、今後の農業用ダムをはじめとする農業水利施設の適正な維持管理の推進の一助となれば幸いです。

■ 日時 : **令和 7 年 10 月 30 日 (木) 13:30~16:25**
(開場・受付 13:00~)

■ 会場 : **ツドイコ 名駅東 カンファレンスセンター Room C**

〒450-0002 名古屋市中村区名駅 3-21-7 名古屋三交ビル 2F (代表) TEL: 052-731-7670

交通アクセス :

- ・名古屋駅（桜通口）徒歩 7 分
- ・地下街ユニモール 14 番出口すぐ
- ・地下鉄桜通線国際センター駅徒歩 1 分

■ 定員 : **50 名**

会場参加は定員になり次第
締め切りとさせていただきます
別途 Web 配信予定

■ 主催 : **一般財団法人
日本水土総合研究所**



プログラム

13 : 00	開場・受付	
13 : 30	挨拶	(一財) 日本水土総合研究所 総括技術監 北林 英一郎
13 : 40	基調講演 (80 分)	「ダム上下流の流砂環境再生に向けて」 京都大学防災研究所 水資源環境研究センター 特定准教授 電源開発株式会社中部支店支店長代理 恩田 千早
15 : 00	質疑(10 分)	
(15 : 10 ~ 15 : 25) 休憩		
15 : 25	講演 (55 分)	「近江東部地区（永源寺ダム）における堆砂対策について」 近畿農政局 淀川水系土地改良調査管理事務所 所長 茂木 正史
16 : 20	質疑(5 分)	
16 : 25	閉会	

基調講演講師紹介

恩田 千早 (おんだ ちはや) 氏

【紹介】

京都大学大学院 工学研究科博士後期課程 都市社会工学専攻修了

1999 年 4 月 電源開発株式会社入社

2025 年 4 月 電源開発株式会社中部支店 支店長代理

2024 年 4 月 京都大学防災研究所 水資源環境研究センター
ダム再生・流砂環境再生技術研究領域 特定准教授

論文：・発電用ダムにおける堆砂特性を考慮した通砂運用効果の推定と通砂促進策の検討
・水力発電用ダムにおける堆砂対策の事例分析（共著）、他

ダムの長寿命化と流砂環境再生を目指し、通砂運用の経済性や導入課題を複数ダムで検証しながら、土砂流入・動態予測、データベースを活用した管理技術評価などを通じて、現場ニーズに即した貯水池土砂管理の高度化に関して研究。

参加申込

以下の事項をメール(または FAX)で送付願います。

- ①会場参加 もしくは Web 参加 ②所属等 ③参加者氏名 ④住所 ⑤電話番号
⑥メールアドレス ⑦CPD 登録番号 (CPD プログラム参加の方)

注) WEB 参加の場合：後日接続 URL 等をメールで返信します。

申込先

E メール：koueki@jiid.or.jp (または FAX: 03-3502-1329)

お問い合わせは、日本水土総合研究所 管谷、権谷までお願いします (電話 03-3502-1387)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1 丁目 21 番 17 号 虎ノ門 NN ビル